

## ウェビナー 「今後のイノベーション活動を考える」

日本企業のオープンイノベーションを取り巻く環境が劇的に変化中、ジェトロ・サンフランシスコ事務所は、シリコンバレーなどで活躍する日本人識者を講師に迎え、過去の世界的なリセッション時の振り返りと今後の展望を示すとともに、日本企業が個々に今後の事業活動の在り方と実現手段について考えるヒントを提供します。全4回のシリーズ開催です。

2020年6月 3日 (水) 17:15~18:45 (PDT/米国太平洋時間)

6月 4日 (木) 9:15~10:45 (日本時間)

6月10日 (水) 16:15~17:30 (PDT/米国太平洋時間)

6月11日 (木) 8:15~9:30 (日本時間)

6月18日 (木) 16:15~17:45 (PDT/米国太平洋時間)

6月19日 (金) 8:15~9:45 (日本時間)

6月25日 (木) 16:15~17:45 (PDT/米国太平洋時間)

6月26日 (金) 8:15~9:45 (日本時間)

主催：ジェトロ・サンフランシスコ

協力：北加日本商工会議所、NEDOシリコンバレー事務所  
Japan Society of Northern California

事務局：Pasona NA, Inc.

講師：次ページ以降に記載

講演言語：日本語

参加費：無料

下記よりご登録ください。

<https://www2.pasona.com//519571/2020-05-05/8d3nrj>

※申込ページから講師への事前質問ができます。

定員：1,500名（先着順）

※当日視聴できない場合でも、後日アーカイブ動画をご覧ください。

視聴方法：パソコン、スマートフォン、タブレット等ご自身のオンライン端末から接続願います。

6月3日（水）17:15～18:45(PDT), 6月4日（木）9:15～10:45（日本時間）

企画1（第1回）

バイエリアで長らく定点観測してきた日本人識者が、今ここで起きていること、自らの過去の経験と教訓、今後の投資・事業環境のリスクとチャンスなどについて語る。

大谷俊哉氏

**Co-Founder and Managing Director, TransLink Capital**



TransLink Capital Co-Founder & Managing Director。20年以上にわたるハイテク企業のマネジメント及び投資の経験を有する。三菱商事で複数の米国ベンチャーとのビジネスに取り組み、営業、マーケティング、プロジェクト運営、事業開発と多岐にわたる役割に従事。スタンフォード大学にてMBAを取得後、光通信の米国VC部門のPresidentに就任、パロアルトオフィスにて投資チームを指揮し、Webex (WEBX) やSiRF (SIRF) などの有望な投資案件を指揮。その後、Everypath, Inc. の上級副社長としてコーポレート戦略の再構築に貢献、日本支社を設立し、General Managerとして日本における事業運営を指揮。2006年にVCのTransLink Capitalを共同創業し、現在に至る。慶応大学にて機械工学の学士を取得。Stanford UniversityにてMBAを取得。Silicon Valley Japan Platform (SVJP) Fellow。

坪田駆氏

**Principal, SAP Labs Silicon Valley**



シリコンバレー最大のアウトサイダーとして4,000名の従業員を抱えるSAP Labsの一員として、日本企業との新規事業共創を推進するビジネスディベロップメントに従事。老舗IT企業がシリコンバレーのエコシステムを活用し自己変革に成功した経験をもとに、年間3000名を超える日本企業のリーダーにデザイン思考を活用した事業変革を啓発する。日本最大級の新規事業リーダーコミュニティ「Business Innovators Network」ならびに次世代リーダーコミュニティ「RELAY」主宰。スタートアップアクセラレーター「SAP.iO」ベンチャーパートナー。経済産業省「始動 Next Innovator」プログラムシリコンバレーメンターなど。

立野智之氏

**MANAGING DIRECTOR, ICMG USA**



日本、米国、アジアのクロスボーダー新規事業・組織構築支援に特化したMANAGEMENT CONSULTING会社であるICMG社 USA法人責任者。日本企業を顧客に、主に米国での事業展開に伴う組織構築、EXECUTIVE SEARCH、企業買収後のPOST MERGER INTEGRATIONをHANDS ONで支援。インターネット黎明期の1995年、MENLO PARKにて\$78MのCORPORATE VENTURE CAPITALの立ち上げ。米国ベンチャー企業のM&A・AI研究所設立に責任者として従事。2000年、日米クロスボーダーのコンサルティングファームであるTP PARTNERS設立。過去25年、自社含めシリコンバレーに進出する日本企業約40社の新規事業組織立ち上げに携わる。1988年から7年間はNEW YORKにてリクルート社USAのデータセンター事業責任者。渡米前はエネルギーインフラ・エンジニアリング会社日揮にて、PROJECT MANAGEMENT SYSTEM ENGINEERとして東南アジア、中近東、西アフリカ駐在。慶應義塾大学大学院工学研究科修士。アイアンマン35回含む150以上のトライアスロンレース完走。現在、サウサリート在住。

6月10日（水） 16:15～17:30（PDT）

6月11日（木） 8:15～ 9:30（日本時間）

## 企画1（第2回）

ベイエリアで長らく定点観測してきた日本人識者が、今ここで起きていること、自らの過去の経験と教訓、今後の投資・事業環境のリスクとチャンスなどについて語る。

### 宮田拓弥氏 Founder and General Partner, Scrum Ventures



サンフランシスコと東京を拠点に、日米のテックスタートアップへの投資を行うベンチャーキャピタルを経営。これまでに、Mobility、Fintech、IoT、VR、コマース、ヘルスケアなど70社を超えるスタートアップに投資を実行している。TechCrunchなど国内外のメディア、イベントでの寄稿、講演など多数。それ以前は、日本および米国でソフトウェア、モバイルなどのスタートアップを複数起業。2009年ミクシィのアライアンス担当役員に就任し、その後 mixi America CEO を務める。早稲田大学大学院理工学研究科薄膜材料工学修了。

### 本間毅氏 Founder & CEO, HOMMA



1974年生まれ。中央大学在学中に起業。1997年にWebインテグレーションを行うイエルネット設立。ピーアイエム株式会社(後にヤフージャパンに売却)の設立にも関わる。

2003年ソニー株式会社入社。ネット系事業戦略部門、リテール系新規事業開発等を経て、2008年5月よりアメリカ西海岸に赴任。電子書籍事業の事業戦略に従事。

2012年2月楽天株式会社執行役員就任。退任後、シリコンバレーにてHOMMA, Inc.創業。

6月18日（木） 16:15～17:45（PDT）

6月19日（金） 8:15～ 9:45（日本時間）

## 企画2（第1回）

日本人識者が、足元の大きな変革の中で、あらためて投資・事業提携活動の目的をどうとらえ、それに合わせてどのような手段を取るべきかを語る。特に当地で活動を始めて間もない企業を念頭に置く。視聴者はそれらを自社の状況に当てはめ、本社への具体的提案につなげる。

### 佐藤寛人氏 COO/CFO, Obayashi SVVL (Silicon Valley Ventures & Laboratory)



慶應義塾大学環境情報学部(SFC)卒業後、大林組に入社。IT戦略企画室にて社内業務フロー改革、社内ベンチャー制度で新会社の立ち上げ・事業化などを経験。米国MBA留学を経て、2011年3月より北米統括事務所(サンフランシスコ)に赴任し、北米事業の再構築、米国企業の買収などを行う。2016年12月にシリコンバレーのテクノロジーを建設業に取り込むための拠点としてSilicon Valley Ventures & Laboratoryを提案。2017年3月に組織化、10月にサンカルロスに拠点を開き活動を本格始動。現在、米国子会社と一体となって、シリコンバレーにおけるConstruction Techのコミュニティ形成を図る。

### 北村充崇氏 Managing Director, DNX Ventures



97年ボストン大学経済学部修士課程卒業後、JETROニューヨークにて米国ベンチャー企業の日本企業との事業提携活動の支援などを行う。2000年にシリコンバレーに移住、日本大手VCの日本アジア投資（JAIC）のシリコンバレー拠点立ち上げメンバーに参画、以来シリコンバレーでのベンチャー支援／投資を続け、30社に出資。2011年に日米クロスボーダーのvcファンドDraper Nexus（現DNX Ventures）を立ち上げる。DNXは、現在3つのファンドで累積運用総額は約570億円となる。

### 内田知宏氏 Director of Business Development and Alliance Group, Hitachi Solutions America



2001年に日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社（現：株式会社日立ソリューションズ）にSE職で入社。その後プリセールス、プロセス改善コンサルタント職、中東地域担当パートナー営業を経て、英国子会社で在籍時の2010年に欧州通信事業者と共同での新規事業立ち上げを主導。日本帰国後、2014年にも新規の国内事業を立ち上げ、その後該当事業のプロダクトマネージャーとして製品戦略から販売戦略まで全体を取りまとめる。2016年1月よりシリコンバレーに駐在し、スタートアップとのパートナーシップや日系企業間連携による新規事業立ち上げ、事業拡大に従事し、駐在開始後4年間で20社との協業を実現。

6月25日（木） 16:15～17:45（PDT）

6月26日（金） 8:15～ 9:45（日本時間）

## 企画2（第2回）

日本人識者が、足元の大きな変革の中で、あらためて投資・事業提携活動の目的をどうとらえ、それに合わせてどのような手段を取るべきかを語る。特に当地で活動を始めて間もない企業を念頭に置く。視聴者はそれらを自社の状況に当てはめ、本社への具体的提案につなげる。

西城洋志氏

**Vice President of Business Development & Strategy, Toyota Research Institute - Advanced Development**



TRI-ADのBusiness Development and Strategyのバイス・プレジデントとして、戦略的な長期パートナーシップ構築や投資から事業全体にいたる企画立案とその実行を担当する。知能化技術をあらゆる形態のハードウェアに組み込み、より大きなシステムの一部として連携させることにより新しい価値を創造し、クリエイティブでカラフルな日常を全ての人に届けること、それにより、それぞれが大切なことに集中できる空間と時間をつくるのがミッション。

ヤマハ発動機株式会社に入社後、表面実装技術に特化したロボット事業のソフトウェア開発に従事。2015年に会社初のベンチャーとなる新事業開発専任の直轄子会社、Yamaha Motor Ventures and Laboratory Silicon Valley, Inc.を設立し、4年以上CEOを務める。代表的な功績として、3年にわたるMOTOBOTプロジェクトがある。人型のロボットが市販のバイクを自律運転し、サーキット走行で世界クラスのライダーに挑戦した当プロジェクトは、自動運転実現に向け、自動運転用のモビリティ開発とは一線を画するアプローチを示した。

Yamaha Motor Corporation, U.S.A.にてNew Venture Business Development部門のGeneral Managerを務め、Yamaha Motor Venturesとのパートナーシップを活かし、未来を見据えた無人航空機、高齢化社会における健康寿命増進のサポート、農業分野での自動化、フィットネスジムなどを中心に体験にフォーカスした新しいビジネスモデルの構築に従事。その後、2020年1月にTRI-ADにて現職に就任。

九州大学工学部卒業。ロボティクス分野で30件以上の特許を取得し、2016年と2018年にはGlobal Corporate Venturing (GCV) Powerlistに選ばれた。今日よりもカラフルな世界を探索する人生を送ることがモットーであり、その手段の一つが働くこと。新しいものや他と異なる特徴があるものに触れることが好きで、自分が知らないものには何にでも好奇心を持つ。時間がある時は、ゴルフや水泳をしたり、旅行に出かけたり、ビールを飲みながらビーチで過ごしたりして楽しむ。

(続き) 6月25日(木) 16:15~17:45 (PDT)

6月26日(金) 8:15~ 9:45 (日本時間)

## 企画2 (第2回)

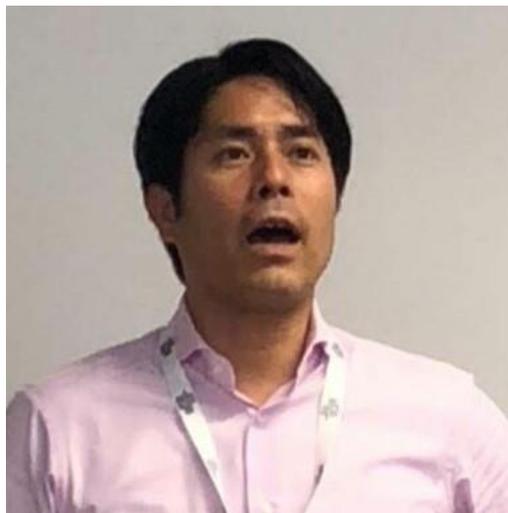
日本人識者が、足元の大きな変革の中で、あらためて投資・事業提携活動の目的をどうとらえ、それに合わせてどのような手段を取るべきかを語る。特に当地で活動を始めて間もない企業を念頭に置く。視聴者はそれらを自社の状況に当てはめ、本社への具体的提案につなげる。

### 伊佐山元氏 Co-founder and CEO, World Innovation Lab (WiL)



WiL(World Innovation Lab)共同創業者CEO。東京大学法学部卒業後、日本興業銀行(現・みずほフィナンシャルグループ)に入行し、2001年よりスタンフォード大学ビジネススクールに留学。卒業後米大手ベンチャーキャピタルのDCM本社パートナーとして、シリコンバレーで勤務。10年間に渡り、日米中のITベンチャーへの投資育成を手がける。2013年に日本の大企業とベンチャーの橋渡しを行うことでオープンイノベーションを実現する組織WiLを創業。日米を拠点に活動しており、日本が起業大国になることを夢見ている。日経初め各種メディアでコラムを執筆中。産業構造審議会はじめ、多くの政府関係の委員を務め、日本発グローバルに通用するベンチャーの育成のための仕組み作りに励んでいる。

### 佐藤貴史氏 Managing Partner, MS&AD Ventures



1996年住友海上火災保険(現三井住友海上火災保険)に入社。2003年インド合弁会社設立・3年間インドチェンナイ市に駐在。その後人事部門にてグローバル人材育成プログラム立ち上げ。2017年5月MS&AD保険グループ初代シリコンバレー駐在員として赴任、1年後の2018年5月グループ初の海外CVCであるMS&AD Ventures社を設立。同10月にUSD40M規模で投資業務を開始、半年間で13社の投資を実施。2019年7月にUSD120M規模に投資業務を拡大。2020年4月末現在、6カ国・36社への投資を実施済。新規事業プログラムとして、2018年1月事業会社がシリコンバレーに短期留学して経営課題解決を一緒に行う「MS&ADガレージプログラム」を設立、約2年間で5カ国22拠点・37名が個別参加。